



まちのへ



「カンテレの音色は、心地よい風のようで、心が癒やされます」。平和在住の佐藤さんは、フィンランドの民族楽器カンテレの演奏家です。五年前まではピアノの講師をしていましたが、今はカンテレ一筋で、西区文化フェスタやコンカリーニョなどで演奏会を行っています。

そんな佐藤さんがカンテレと出会ったのは二十年前のこと。ご主人の知り合いでピアニストの館野泉さんからフィンランドの話を聞いて興味を持つようになつてから。その持つようになりましたが、演奏方法を教わ

■編集

西区役所総務企画課広聴係 〒 063-8612 西区琴似2条7丁目1-1

TEL 641-2400 内線224~227 FAX 641-2405

◎西区広報番組「西区情報プラザ」FMラジオ三角山放送局76.2MHz

毎週月曜日午前11時~

◎西区ホームページ <http://www.city.sapporo.jp/nishi/>

◎区民のページ 2006・7

カンテレ演奏家  
道新文化センター講師

佐藤 美津子さん(57)

○カンテレとは

フィンランドの民族楽器。琴を小さくしたような形で、木の胴に張ったスチール製の弦を指で弾いて音を出します。



■東区民センターのロビーコンサートの様子

カンテレの音色に心が癒やされます

る機会がなく、十年以上弾くことがなかつたそうです。本格的に演奏を習い始めたのは平成十一年、カンテレ奏者のフィンランド人が札幌に留学してから。十ヵ月ほど演奏の手ほどきを受けてからは、技術の習得に没頭していきました。その後には、札幌コンサートホールキタラで初めて観客の前で演奏しました。そのとき偶然観客として来ていた西区文化フェスタの選考委員に誘われて、カンテレの演奏会を行うことになりました。それから、市内や道内各地から演奏会の依頼を受けることが多くなりました。

「カンテレの魅力は、心にしみる透き通った音色です。疲れているときでも、弾いているうちに気分が良くなつてきて、いつの間にか一時間経つときもあります」。また、ある演奏会で「かあさんの歌」を弾いたときには、観客が涙を流して感動していたことがあります。つたそうです。

現在は、カンテレ教室を開いて生徒に教えている佐藤さん。「将来は生徒たちと一緒に演奏会を開きたい」と夢を語ります。

※注 講野 泉…フィンランド在住の世界的なピアニスト。2002年に脳出血で右半身不随になり、2年半の闘病生活を送る。その後左手だけの演奏会で復帰を果たした。「左手のピアニスト」として知られている。